

●鎌倉市本庁舎等整備市民対話（第2回）を開催しました。

鎌倉市では、平成30年（2018年）度末までを目標に、新たな本庁舎の基本構想の策定に向けた取組を進めています。

0. 実施概要

市民対話の目的は、市民目線や市民感覚を取り入れた「本庁舎等整備基本構想」の策定を目指し、取組状況を共有するとともに、新たな本庁舎をどのような建物にするかという理念について、多様な意見を伺っていくことであり、次のとおり、市民対話（第2回）を開催しました。

1. 開催概要

市民対話（第2回）では、「本庁舎のありたい姿」をメインテーマに、対話をしていただきました。メンバーが対話を重ねることで、「本庁舎のありたい姿」に対する想いが各チームから浮かび上がってくることを期待したものです。

日時 平成30年8月4日（土） 午後1時30分～3時30分

会場 鎌倉市福祉センター2階 第1・2会議室

出席者 市民対話メンバー16名（冒頭15名、途中参加1名）

鎌倉市（行政経営部（齋藤）、公的不動産活用課（関沢、下澤、石塚））
都市環境研究所等（谷口、兼森、西村、荻原、寛）

プログラム

- （1）対話の目的や進め方を共有する（全体）
- （2）一人一人、本庁舎に最も求めたいことを描く（テーブル毎）
- （3）本庁舎で経験したい具体的なシーンを描く（チーム毎）
- （4）一人一人の本日の気づき（全体）

3. 対話等の概要

（1）対話の目的や進め方を共有する：イントロダクションの質疑

- ・ 市民対話のみでは市民全体の総意の想いとは言えない。対話の場はほかの市民にも聞いてほしいが、傍聴は可能か？
 - ⇒ 傍聴の形は検討する必要があるが、希望者がいれば受け付けていきたい。会場の都合もあるため、事前に申し入れてもらいたい。
- ・ 世間では IT 化などの最新技術の導入が進んでいる。それらの最新情報や参考情報は提供してもらえるのか？
 - ⇒ 並行して学識経験者などで構成する組織で本庁舎等の整備について検討を行っているので、適宜情報を提供したい。
- ・ 「本庁舎のありたい姿」というテーマであるが、IT 化や AI の導入が進めば、市民に必要なサービスを本庁舎に求めることも減ってくると思われる。
 - ⇒ 各参加者の視点や求める機能等を踏まえて、対話の中で意見をいただきたい。



会場の様子

(2) 一人一人、本庁舎に最も求めたいことを描く

①ワールドカフェ※：問い「本庁舎に最も求めたいことは？」

※ワールドカフェとは…メンバーを交換しながら小グループ（テーブル毎）でオープンにテーマを話し合い、参加者全員が知識や考えを共有する対話の手法（今回は、メンバー交換を1回行いました。）

A テーブルの対話	B テーブルの対話	C テーブルの対話	D テーブルの対話
<p>○問題は建物ではなく、人のための場所（ハードよりソフト）</p> <p>○子供のための施設、若者のための建物。市民の施設</p> <p>○モデルケースになってほしい</p> <p>○防災拠点としての機能は必須</p> <p>○180億円かかるが、基金や借金が必要なら、できるだけ小さく。維持費への配慮、コストカットも必要</p> <p>○市役所に行くのは基本的に面倒くさい手続が必要なとき。できれば行きたくない</p> <p>○ITで手続的なことができてしまえば、大きな建物はいらぬ。小さくていいし、極論すれば逗子、葉山と一緒にいいのでは？（さすがに難しいか…）</p> <p>○市役所は市長がいるところ。市長室は今の場所に残っても良い</p> <p>○市役所としての機能、NPOの活動の場所、市民に開放された場所、市民活用できる場所</p> <p>○花の教室やカフェ</p> <p>○福祉のための機能</p> <p>○業者のための建物</p> <p>○福祉のための機能</p> <p>○バリアフリーが必要</p> <p>○IT化、AIの活用</p> <p>○モノレールが混んで乗れなくなってしまう</p> <p>○ゴミ問題</p> <p>○鎌倉らしいブランド力</p>	<p>○平時の使い方（10,50,100年後を見据えて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今は業者と市民の場所⇒いずれは個人事業主の居場所に ・観光客の居場所になるか？⇒観光スポット等 ・働く人が個人のリモートオフィスとして活用（行政が活用をサポート） <p>○コンパクト化を図る</p> <p>○誰にでも優しい</p> <p>○高齢者も使えるシステムになってほしい</p> <p>○みんなが集まる場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流の場、ここにいれば誰かに会える、なんとなく行ける場所。例えば、ふらっとコーヒーを飲みに行く、何もなくても頼れる場所など ・最も求めたいのは行きたいと思うこと ・そうすると行政の施設でなくてもよいのではない <p>○将来の規模縮小や機能の変化にも対応できる柔軟性のある庁舎</p> <p>○事業継続上の安定性、防災安全性が高い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害など特別なときにしか利用しない？ <p>○アクセスがいいことも大切</p> <p>○分庁舎を廃止しても自動運転が実用化されたら移動の負担が0になる</p> <p>○次世代の視点が必要（数少ないこれからの市庁舎のモデルになるのではない）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何がモデルとなるか？⇒ITの活用等 ・子供たちのための庁舎 <p>○鎌倉らしいブランドイメージを表現する</p> <p>○お店が深沢にできればまちが賑やかになる</p> <p>○抽象的な情報が多すぎる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズがわからない ・行政は市民の目をもてない <p>○機能等の管理化を進めた方が良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物を小さくする ・立地場所は大きな問題でないのでは <p>○市議会は傍聴できるようにしてほしい</p>	<p>○高齢化と人口減少への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口は17万人から8.5万人に減る ・AI&RPAの導入（でもお金かかる） <p>⇒複数の地域で共同開発してはどうか</p> <p>⇒コストと時間の最小化が必要（ミニマム、コンパクト）</p> <p>⇒機能と人数の効率化</p> <p>○防災の安全性は必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本庁舎は災害時の拠点 ・大船：空からの災害対策（土砂問題） <p>○個人データの管理とビッグデータの有効活用</p> <p>○本庁舎と分庁舎・各支所・行政センターの機能、役割を整理する必要がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・30～50年後のありたい姿を考える必要がある ・市民にとって本庁舎と分庁舎等で求める機能の違いは感じない <p>○本庁舎に訪れるの必要性とは何か？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なものではない ・ほとんどの人が市役所に来るのは2回以下 <p>○アクセスの良さが必要</p>	<p>○市役所は誰のものか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供たちのため（将来性） ・今は、業者さんのためのものになっている（庁舎に行くのは結局業者） ・印鑑登録くらいでしか行かない ・30歳未満は行く理由は結婚くらい（支所でもできるらしい） <p>○暮らしている市民の意見が入っているのか？（住民本位であるべき）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の声を反映してほしい（気持ち良い対応をしてもらいたい） ⇒15人の意見を市民の代表として扱うのはおかしい（成立していない） ⇒自治会への説明・意向確認はあったのか ⇒プロダクトメイキングのような意見徴収だが、まずは全体総意を把握してほしい ・いろんな世代を集めて欲しい <p>○広さ、立地、安全で深沢以外はないのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災を受けて、津波への安全性が重要と感じた ・今は危険な災害が多様にある（大船でも水害があると聞いた） ・材木座の防災対策も重要なのではない <p>○鎌倉らしいものが必要か</p> <ul style="list-style-type: none"> ・深沢で鎌倉らしさにこだわらなくていい ・景観への配慮は必要 ・鎌倉らしさの良し悪しは誰かが決めるものではない <p>○無駄を省いた整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランニングコストをかけない配慮が必要 ・ルミネの中にあるような機能で十分である <p>○すべての地区に平等なアクセス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鎌倉地域からは新たなバス路線が必要 ・鉄道はモノレールしかない？JR新駅ができて700mくらい離れている <p>○町田市役所のように中央図書館等があっても良いのではない</p>

②マグネットテーブル※：問い「本庁舎にあなたが最も求めたいことは？」

参加者それぞれの問いに対する想いや考え	
チーム A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常時における情報の拠点となる機能 ・ ハードの面では多機能利用が可能なレイアウト
	+
	自由な、将来役に立つ市役所(もったいない、コンパクト、人口動態、AI 社会)
	+
チーム B	柔軟性 (今後の環境変化に耐えられる・作りこみ過ぎない・無駄、コストを省く)
	+
	効率化
	+
チーム C	全てが次世代指向 (防災・コミュニケーション・他市との共用・ブランド・簡素化)
	+
	50 年後の鎌倉を見据えて！サステイナビリティ
	+
チーム D	次世代につなげる 子供たちのために
	+
	もしもの時の頼れる兄貴！
	+
チーム E	防災上の安定性 (建物・場所・アクセス・状況説明、情報⇒拡声器)
	+
	防災時の避難所(拠点)としての機能 → 広さ、設備、安全性
	+
チーム F	災害に強い鎌倉(機能崩壊しない)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクセスがよい、頑丈⇒建物として(かさ上げ、電源が落ちない工夫) ・ 情報(災害)伝達の方法、ツール ・ 避難場所のあり方 ・ 拠点機能の確保 日常でも機能できる
	+
	+
チーム G	鎌倉らしいブランド力がある建物
	+
	簡素化
	+
チーム H	市民合意！ 市民の意思、くらしから生まれるニーズ
	+
	1. 現在の財政状況からして、金をかけない移転をして下さい。 あらゆる無駄を省いて、何が無駄か？ → よくわからないが人・モノ etc.
	2. 市民に対して“丁寧な、やさしい対応” 職員の執務態度 3. 防災対応について海からだけでなく、雨水、土砂に対する対応も忘れずに



マグネットテーブルの様子 (チーム形成中)



マグネットテーブルの様子 (チーム形成中)

※マグネットテーブルとは…お互いの問いに対する考えや想いを見せ合い、「似たことを書いている人」、「一緒になると化学反応を起こせそうな人」、「乗っかりたいと思える案を書いている人」が集まり(チーム)を形成して対話する手法

(3) 本庁舎で経験したい具体的なシーンを描く

①クイックプロトタイピング※：

「どんなときに・誰が・どのように本庁舎を利用しているか具体的なシーンを描く」

チームAの発表内容

ネットワーク型ミニмум・コンパクトな本庁舎

- ・ IT化を図り、本庁舎に必要な機能をコンパクト化する。
- ・ 本庁舎は災害時に生存者への情報を発信する中枢機関であるが、中枢機関はなるべくコンパクトにし、情報のネットワーク化を強化すると良いのではないかと。
⇒ネットワーク化を図ることで、本庁舎自体は必要最低限のコンパクト化を実現できるのではないかと。
- ・ 平時は、様々な活用ができる「何もないスペース」の確保も重要であり、本庁舎の機能自体はミニмумでも良いのではないかと。しっかりとした建築物である必要はない。
⇒従前の機能も、柔軟な発想を持ってコンパクト化を図っていく。例えば、将来的には市長室や議場も必要ないなどといった発想があっても良さそうである。

	①	②	③	④
どんなときに	災害時	災害時 → 災害時	どんなときに	どんなときでも何か起るとき (IT化が進んだ時) 市民サービス
誰が	生存者・住民が	各支所が (支庁)	誰が	市民・市職員
どのように	発信で生き (中枢機能として)	ネットワークとして 市行政の機能を担保 (つまり簡素化する)	どのように	体育館含めて 何にもない 広いスペース 最低限のサービス機能

※クイックプロトタイピングとは…アイデアを素早く可視化 (絵、粘土、即興劇等) し、フィードバックを得ることで理解を深め、新たな視点を得るための対話の手法

稼げる次世代の本庁舎

- 平時の機能は「住民」「業者」「ビジネスマン」「観光客」の利用という視点で検討した。
⇒住民の利用としては、図書館、カフェなど、気軽に行きやすい魅力的な空間があると良い。(ただし、これらは市が運営しなくてもよくて、民間に委託してはどうか。)
⇒業者の利用としては、これまで通り行政との打合せに訪れるイメージ
- ビジネスマンの利用としては、コワーキングスペースを設けてみてはどうか。IT化が進めば、VR等を活用することで実際にその場所に集まらなくても様々な人々がコミュニケーションをとれる空間になる。また、自動運転化が進み、簡単に遠く離れた市民が行き来できる市役所になれば、ワーキングスペースや居場所としての価値が高まるのではないかな。
- カフェや美術館などの空間があれば、観光客も訪れる庁舎になる。稼げる箱という機能を持つ庁舎になっても良いのではないかな。

50年
~100年

次世代の庁舎へ

① どんな時

平時

② 誰か

- 住民
- 業者
- 商人
- 観光客

③ How

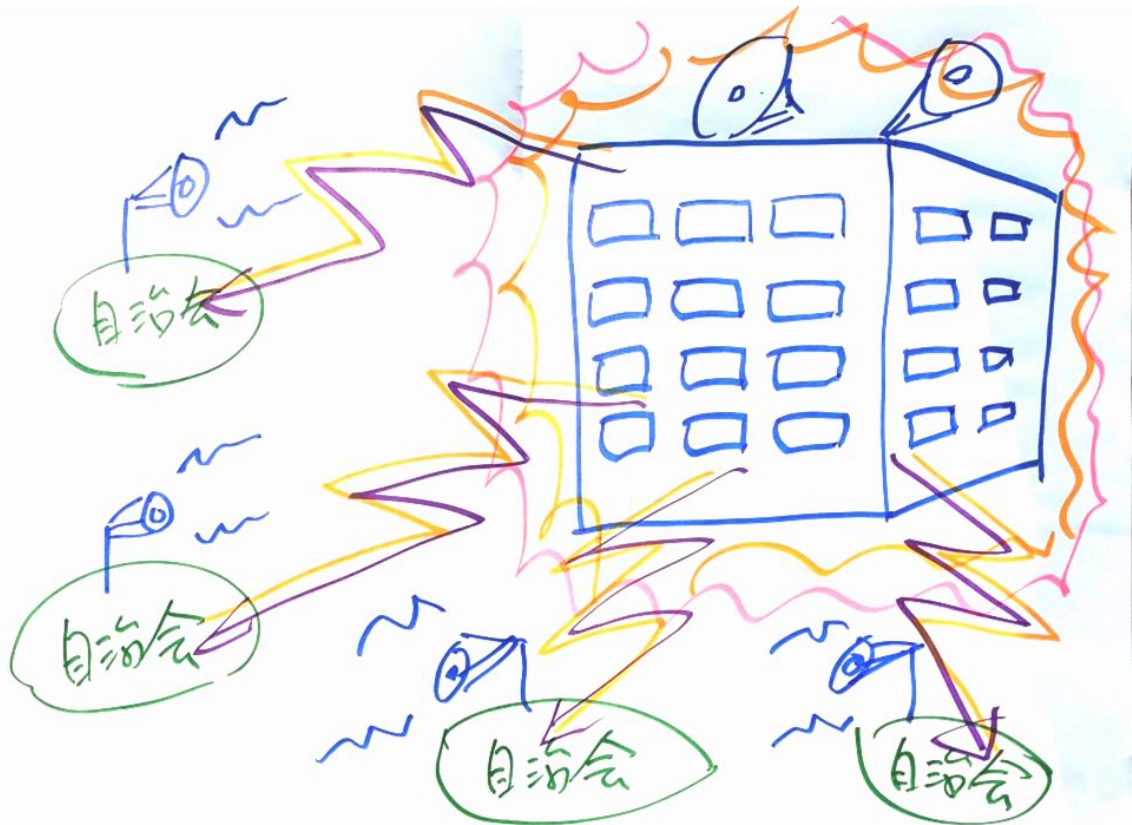
- サービス(図書館、カフェ)
- 行政サポート
- コワーキング, ビジネス
- 観光拠点(建物、アート)

→ 収益化

| 自動運転, XR

強くても壊れない防災時等でも頼れる庁舎

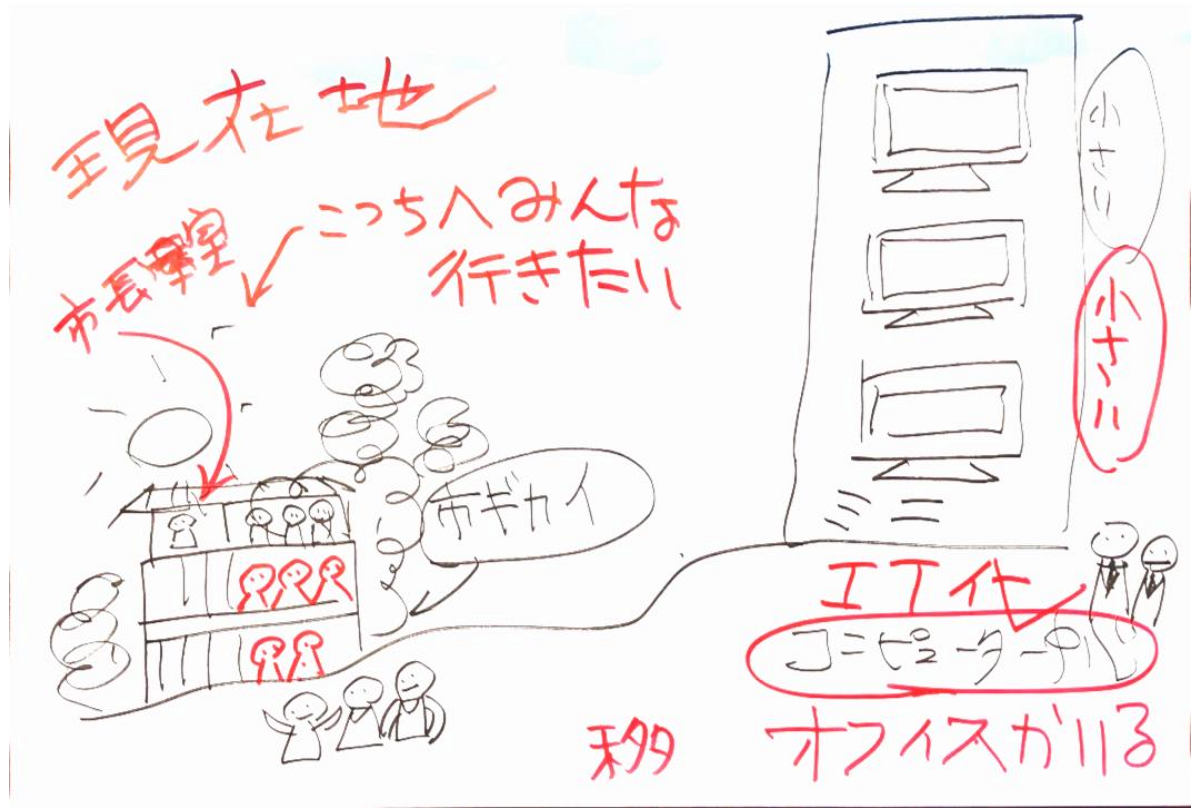
- 躯体はものすごく強固なものとし、地震等では決して壊れないことでいかなるときでも安心で安定的な機能を発揮することができる。
⇒浸水に対しても強い庁舎であってほしい。浸水して1,2階の機能がストップしても問題ないように、重要な機能を3階に配置することも重要である。
- 災害時には情報伝達も非常に重要である。災害時は、最終的には各々が自分の命を守るかにかかっており、自治会と連携し、拡声器等を活用して情報拡散ができる備えをつくってはどうか。
⇒自衛隊や国等とも情報伝達やアクセスをスムーズにし、万一の際は円滑な防災対策が取れる庁舎となしてほしい。
- 平時の利用については、将来的にはIT化が進むことで、市民や職員が実際に本庁舎に行かなくてもサービス供給ができる展開があっても良いのではないか。



チームDの発表内容

簡素化・効率化・ミニмум本庁舎

- ・ 深沢地域については、IT化の活用と効率的な空間活用によりミニмум化を図る。
 - ⇒整備は180億円と言われているが決して安くない。モノレールの機能強化等も含めると400億円ほどかかるという話も聞いており、移転整備に賛成できない。
 - ⇒本庁舎は普段行く機会がない場所。今後は人口も減るので、広い面積は必要ないのではないか。(職員も将来的には減るのではないか。)
 - ⇒庁舎機能は1,2フロア程度でまかない、余剰面積は民間に貸して稼ぐ庁舎となっても良いのではないか。
 - ⇒メインコンピューターでデータを一元管理することでスペースを削減するだけでなく、行政サービスの効率化も図る(税金・保険関係の滞納、不払いへの対応など)
- ・ 防災対策は最も重要だが、津波だけでなく、様々な防災対策を考慮しなければならず、それを踏まえた立地が必要である。
- ・ 市民の居場所、本庁舎の主要機能は現在地で展開されるべきである。
 - ⇒本庁舎はあくまで市長がいるところである。市長の部屋は鎌倉地域にあるべきである。
 - ⇒議会や情報公開コーナーは普段からよく利用しており、鎌倉地域にあってほしい。
 - ⇒鎌倉らしい機能、外観は現在地に力を入れるべきである。



(4) サークル※：一人一人の本日の気づき（感想含む）

<p>・ 市民対話に関わり始めて3年になるが、新しいメンバーと話をして、初めての方は情報を知らない、移転の経緯がわからないということを改めて実感した。唐突に移転という情報が出てしまった印象を受けるのかもしれないが、適切に情報発信するかは永遠の課題だと思う。</p>
<p>・ 元々深沢への移転は反対だった。前回の説明会で100%ではないが、筋が通った説明をいただき、意図は理解した。</p>
<p>・ 人生残り40年間鎌倉にどう住まい関わっていくか、将来鎌倉で過ごす子供達（現在の小学生など）のためを考えるきっかけとなった。子供達が良いと思える鎌倉になってほしい。</p>
<p>・ もっと情報を上げていく必要があり、そうすることで市民との摩擦がなくなるのではないか。今日の意見交換で、コンパクトな深沢移転があっても良いのではないかと思った。</p>
<p>・ 私は一昨年から市民対話に関わっていた。参加することで市庁舎に関心を持てたことが自分にとっての大きな変化である。技術の進歩が目覚ましいように、世の中、進化しているので、もっとコンパクトな本庁舎整備ができるのではないか。</p>
<p>・ 一昨年から市民対話に関わっている。鎌倉らしい本庁舎とは建物ではなく、行政としての決定機能、サービス機能が充実し、それが便利な場所にあるべきだと思う。市民こそが鎌倉市と思うため、統合的に考えてコンパクトに有効活用できる本庁舎への投資ができれば良いと思う。今は「鎌倉市＝環境＝市民」の意識しかない。</p>
<p>・ 政治に対して文句ばかり感じていたが、それだけではよくならないと思って市民対話に参加している。参加者の話を聞き、鎌倉を良くしたいという想いが伝わってきた。鎌倉市の取組を知ったり、関わり合いが出来たりして一歩前進できたと感じている。</p>
<p>・ 様々なグループの発表を聞いて、比較的近いものにまとまる印象を受けた。若い人の意見をしっかり反映させ、取りまとめたものが夢のあるものとなると良いと思う。本庁舎の構想は、より内容が深まるものになるのではないかと思う。</p>
<p>・ 今回の市民対話で「こんな考え方があるのか」という新鮮な発見があった。タイトなスケジュールで何ができるのかが少し疑問である。</p>
<p>・ 8年後に整備されると状況が変わると思う。市民感覚を意識し、柔軟に対応していただければと思う。</p>
<p>・ 市民対話を実感できた。</p>
<p>・ 移転する段階になって、本庁舎整備について気づく市民が多いと思う。今検討しているものを伝えるのがいかに難しいかと感じた。選挙制度が変わっても若者の投票率が高くななく、豪雨のニュースも他人事に感じてしまうように、人の関心を高めることは非常に難しいと思う。</p>
<p>・ 結婚を機に鎌倉を一度離れたけれども、また戻ってきた。これも何かのご縁だと思って参加している。</p>
<p>・ 今日の発表を聞いて、形になってきたと思う。鎌倉のシンボルとなる庁舎ができればと思う。</p>

- ・ 私は市役所を利用したことがない。行政センター分庁舎と本庁舎の違いがこれまで理解できていなかったが、今日それについても理解できた。
- ・ 鎌倉には7年前から関わり始めた。仕事で良く市庁舎を訪れて利用することが多かったのですが、今回の対話ではほとんど庁舎に行かない人との話がとても新鮮だった。皆さんが住み続ける上でいかに鎌倉を愛しているかが分かった。また、防災への対策が非常に重要だと感じた。

※サークルとは…参加者が車座になり、全体で考える対話の場をつくり出すための方法

4. 今後の進め方

これまでの対話を基に、引き続き市民対話を開催していきます。また、更に広く市民の皆様と一緒に本庁舎について考えていくため、市民対話メンバー及び公募の参加者による「拡張ワークショップ」を開催する予定です。

【拡張ワークショップの予定】

日時及び 平成30年10月8日（月・祝）
テーマ 第1部 午後1時30分～3時30分「新しい本庁舎に何を求めたいですか？」
 第2部 午後4時～6時「現在の本庁舎の場所をどう生かしたいですか？」
会場 深沢学習センター 3階 ホール（深沢行政センター内）